

HPVサーティーンのご紹介

自己採取検体で HPVのタイピング検査が可能です！

HPVサーティーン検査は、受診者の自己採取による膣分泌物を用いて、従来の子宮頸管擦過物と同等の感度でHPVの検出が可能です。

又、

進展リスクが高いと言われる「16,18,31,33,35,45,52,58型」を含む
HPV13種についてタイピングが可能です。

従来のHPV検査に比較して感度・特異度が向上したことに加え、従来法では測定できなかった粘液中に存在するHPVからもDNAを回収することが可能となりました。また、専用採取器具の導入により採取DNA量が増大しています。

これらにより、自己採取による膣内分泌液からも検査が可能となったことで、敬遠されがちな子宮頸がんスクリーニングがより身近になりました。

自己採取によるHPV検査陽性は、
細胞診検査による子宮頸がんスクリーニングの受診勧奨に有用です！

採取容器による比較		LBC容器 (子宮頸管擦過物)	
一致率 98%		Positive	Negative
自 己 採 取 （ 膣 分 泌 液 ）	Positive	34	1*
	Negative	0	12

* 再検査の結果陽性であることが認められました

データ提供：日本遺伝子研究所

従来法との比較		クリニチップ	
一致率 97%		Positive	Negative
本 検 査	Positive	69	2*1
	Negative	1*2	19

*1 シークエンス法で陽性が確認されました

*2 シークエンス法で陰性が確認されました

データ提供：日本遺伝子研究所

《検査要項》

膣分泌物
(自己採取容器)

コード	検査項目名称	判断料 実施料	採取量 必要量	採取容器	保存	検査方法	基準値	所要日数	備考
2790	HPVサーティーン	なし	膣分泌物(自己採取) 子宮頸管擦過物	専用容器 77	冷蔵	マルチ プレックス PCR	(-)	7~12 日	*1 0EE

*1: HPV 16,18,31,33,35,39,45,51,52,56,58,59,68型の13種についてそれぞれご報告致します。

ご不明な点等ございましたら貴院担当もしくは弊社お客様窓口までお申し付けください。

